



／ 今日もおつかれさまです ／

BMウーマンの休憩室



社員の柔軟な発想と行動力で職場を活性化している株式会社ケイミックス。
女性活躍を期待するBM企業にとって、
理想的なモデルとなる同社の活動を、2号連続でご紹介します。

vol.
8

社員をつなぐ場が、女性と会社を元気にする！

●ウェブサイト



“なでしこ会議”のWEBサイトでは、現場で働く方の高い志なども紹介。制作は主に、人事部の松本彩さんが担当している。

●コミュニケーション

以前から、風通しのいい企業風土が定着しているという同社。“なでしこ会議”への協力者は多く、受付に飾る花は会長が提供、監査役がイラストを作成し、相談役がクリエイティブな発想に知恵を貸してくれている。



●会議と打ち合わせ



会議は四半期に1度程度実施し、必要に応じて個別の打ち合わせを行っている(写真)。話し合いの場では、「必ず1回は発言する」「アイデアを否定しない」などのルールを設け、全員が積極的に参加できる仕組みをつくっている。

全員が本業のかたわら 社内の課題解決に貢献

女性のチームワークで社内での活性化を試みているビルメンテナンズ企業「株式会社ケイミックス」。多くの女性総合職が働く同社では、社員が自発的に始めた“なでしこ会議”が、社内外から注目を集めている。すぐできる小さな改善を女性の視点で実現しようとして2013年に結成した組織は、現在27名までに拡大。昨年から対象を男性の新入社員にも広げ、若手の声をすくい上げる場としても役立っている。「場があるから提案しなくなる。仲間がいれば実現できる。そう

いう雰囲気は社内につくりたいと思い、立ち上げました」と語るのは、発足メンバーである経営企画部の佐藤裕佳子さん。ポトムアップの企画で楽しさを創り出すことで、やらされ感がない運営を心がけているという。発足後は「笑顔であいさつ運動」、「花から始まるコミュニケーション」、「朝活セミナー」などを企画し、部署を超えた交流で社員同士の相互理解を深めてきた。また、社内帳票のマニュアル提供や、新規入社社員の本社アテンドなども進んで引き受け、「困ったときは、“なでしこ”に頼もう」と言われるほど、上層部からも厚

い信頼を得る組織になった。また、3年目には外部にも情報を発信していこうと、専用のWEBサイトも開設。総務部の西村菜さんは、このWEBが入社の決め手の一つとなったと話す。「ビルメンテナンズ業は一人で黙々と仕事をするイメージがありました。そうではなく幅広い可能性を秘めていると教えてくれたのが“なでしこ会議”でした」と振り返る。「同期以外のつながりが、入社後の安心感になっている」という西村さん。プラス効果が波及する活動は、女性や若手の能力を活用したい企業にとって大いに参考になりそうだ。(次号に続く)

